

平成23年度 文部科学省科学研究費補助金（研究成果公開促進費）補助事業
**生産獣医療における国境なき感染症の流行現況と
 対策に関する国際シンポジウム**

期間：平成24年2月3日(金)～4日(土)

会場：札幌コンベンションセンター（第3会場・特別会議場）

～「平成23年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(北海道)」の特別企画として開催します～

月日	会場	No.	演題	演者(所属)	時間	
【1日目】 2月3日(金)	第3会場 (特別会議場)	開 会		中尾敏彦(日本産業動物獣医学会会長)	13:00～13:10	
		セッションⅠ 「ヨーネ病」				
		1	欧州における現状と対策	W. Baumgartner(ウイーン大, オーストリア)	13:10～16:20	
		2	北米での流行現況	M. Carter(農務省, 米国)		
		3	日本における対策	百溪 英一(動衛研, 日本)		
				・ 質疑応答		
		セッションⅡ 「生産獣医療に及ぼす感染症の影響」				
		・ 一般発表	演題募集	16:30～19:00		
		・ 意見交換会		19:15～20:30		

月日	会場	No.	演題	演者(所属)	時間	
【2日目】 2月4日(土)	第3会場 (特別会議場)	セッションⅢ 「牛ウイルス性下痢ウイルス感染症」				
		1	欧州における撲滅戦略と新型ウイルス	S. Alenius(スウェーデン大, スウェーデン)	9:00～12:00	
		2	北米における対策	J. Ridpath(農務省, 米国)		
		3	ウイルス伝播の危険因子	G. Gunn(スコットランド農科大学, 英国)		
				・ 質疑応答		
		セッションⅣ 「繁殖障害を引き起こす感染症」				
		1	ネオスポラ感染症	P. Conrad(カリフォルニア大学, 米国)	13:45～15:45	
		2	レプトスピラ感染症	小泉信夫(感染研, 日本)		
				・ 質疑応答		
		セッションⅤ 「生産獣医療における国境なき感染症対策」				
		・ パネルディスカッション 明石博臣(日本産業動物獣医学会副会長)、演者全員		16:00～16:45		
閉 会			佐藤 繁(日本産業動物獣医学会副会長)	16:45～17:00		

【開催要項(案内)】

- 参加方法: 本シンポジウムに参加するためには、学会年次大会への参加登録が必要です。本シンポジウムは外国からの参加者および学会の会員以外の関係者には公開とします。ただし、事前の参加申し込みと、開催当日、受付において身分証明書の提示が必要です。参加申し込みは下記問い合わせ先まで。
- 参加手続き: 本シンポジウムに参加される方は、開催当日、シンポジウム専用受付(学会年次大会総合受付に設置予定)において参加手続きを行ってください。Proceedingsを配布します。
- 公用語: 講演は英語(同時通訳付)ですが、質疑応答および一般発表講演は英語あるいは日本語です。なお、発表スライドは全て英語です。
- 本シンポジウムの詳細は、専用ホームページ(<http://jsfavm12.umin.jp/>)をご覧ください。

《本シンポジウムのお問い合わせ先》 安藤貴朗(酪農学園大学) (国際シンポジウム組織委員会 総務担当)
 E-mail: ando@rakuno.ac.jp TEL&FAX: 011-388-4899